

利用規約の内容を知っていますか？

マイナンバーカードを健康保険証として利用することが、昨年10月から始まっています。保険証として利用するためには、病院などの顔認証つきカード読み取り機で利用を申し込みます。日隈市議は今日7日の臨時議会で問題点を指摘しました。

マイナンバーカードを健康保険証として利用するとき、国が運営しているインターネットサービスの利用規約に同意する必要があるとあります。利用申し込みをする多くの市民は、利用規約の内容を確かめず、マイナンバーカード利用の手続きをされるのではないのでしょうか。

日隈市議は臨時議会で、利用規約に書かれている内容の問題点を指摘しました(今日7日)。

利用規約の第3条に「システム利用者は、自己の責任と判断に基づき本システムを利用し…デジタル庁に対しいかなる責任も負担もさせないもの」と書かれています。



マイナポータル マイナポータル利用規約
(国が運営しているインターネットサービスの利用規約)

(システム利用者の責任)
第3条 システム利用者 (=国のネットサービス利用者) は、自己の責任と判断に基づき本システムを利用し…デジタル庁に対しいかなる責任も負担もさせないものとします。

11月7日臨時議会 21年度決算に党市議団が反対

お年寄りに冷たい市政

日本共産党市議団は今日7日の臨時議会で、日田市2021年度決算の承認に反対しました。理由は90歳になった高齢者の長寿祝い品を廃止したことや、介護保険料を値上げしたことに加え、後期高齢者の医療保険料も負担が増えたことなどです。

昨年90歳になった高齢者は、約480人いました。市はこれまで羽毛布団(2600円)を長寿祝い品として贈っていましたが、これを廃止し、百歳だけに祝い品を贈っています。百歳の祝い品は、羽毛布団と写真立て(合計で約1万3千円)です。

大分市、別府市、佐伯市は、百歳になった方に現金10万円の長寿祝い金を贈っています。中津市は百歳になった方に現金5万円とタオル(3千円)、90歳に現金2万円、0円値上げしました。

88歳にタオル(3千円)、77歳にお茶(2千円)を贈っています。

大谷市議は「老人福祉法に多年にわたり社会の発展に寄与してきたものとして敬愛されるとあり、高齢者が健康で安心してすごすことができるように、市の施策が求められている。90歳の長寿祝い品を廃止したことは問題だ」と批判しました。

また、介護保険料の基準額を昨年から、ひとり当たり平均2200円値上げしました。

物価高で世帯に5万円(11月末)

電気・ガス・食料品などの値段が上がり、特に家計への影響が大きい非課税世帯(住民税均等割がない)や、家計が急変したことで収入が減り、世帯全員が住民税非課税と同じような状況になった世帯に5万円が支給されます。支給は11月末から始まります。

住民税非課税世帯は、市から給付内容が書かれた書類が郵送されます。給付金振り込み口座番号に間違いがないかなどを確認して書類を市に返送すれば、11月末に5万円が口座に入ります。世帯全員のそれぞれの年収見込み額が住民税非課税世帯の水準以下の世帯は、5万円を受けとるために申請が必要です。